



ASAHI PRINTING CO., LTD.

2018年3月期 会社説明会資料

2018年6月1日（金）

東証二部：3951
朝日印刷株式会社



京都クリエイティブパーク

1. 会社概要 P3

2. 朝日印刷の強み P9

3. 2018年3月期 決算概要 P15

4. 朝日印刷を取り巻く環境 P22

5. 中長期経営計画AD2021計画 P28

6. 今期2019年3月期 業績予測 P33



『パッケージ 青い光』

1. 会社概要

経営理念

【創業200年の夢】

“自分の子供や孫の世代も入社させたい”

朝日印刷グループで働く世界中のだれもが、

そう思える会社を創りたい

私達は、美と健康の包装に関する分野で

包むところを大切に

日本と世界へ新しい包装文化を発信する



代表取締役社長 濱 尚

所在地

富山県富山市

創業

1872年(明治5年)

設立

1946年5月(昭和21年)

上場市場

東証二部(証券コード: 3951)

資本金

2,221百万円

主要事業

印刷・包装資材の製造・販売
包装システムの販売・人材派遣

従業員数 (連結)

社員・嘱託 1,691名(2018.3月末)

平均年齢 34.5歳

明治 5年	1872	小沢活版所（個人経営）として現富山県魚津市にて 創業
昭和21年 5月	1946	富山市にて朝日印刷紙器(株)を 設立

▶ 昭和30年代前半 医薬品印刷包材に特化

昭和39年 4月	1964	東京営業所（現東京支店）開設
昭和44年 8月	1969	大阪営業所（現大阪支店）開設

▶ 昭和50年代前半 化粧品印刷包材に進出

平成元年10月	1989	富山工場を新設
平成 5年 8月	1993	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成14年11月		東京証券取引所市場第二部に上場
平成15年11月	2003	富山工場敷地内に富山第二工場を新設
平成20年 6月	2008	富山東工場を新設
平成22年 9月	2010	富山南工場を新設
平成26年 7月	2014	Asahi Printing Singapore Pte. Ltd 子会社を新設
平成27年10月	2015	京都クリエイティブパーク稼働開始
平成30年 2月	2018	物流拠点 富山SCMセンターを新設



明治 8年 著作権免許之証

事業変遷



富山の置き薬



OTC (店頭向) 医薬品



包装システム販売

トータル包装事業で
医薬・化粧品包装業界を
リード!!!

戦後：医薬品・化粧品

印刷事業に特化

創業明治5年



英和辞典

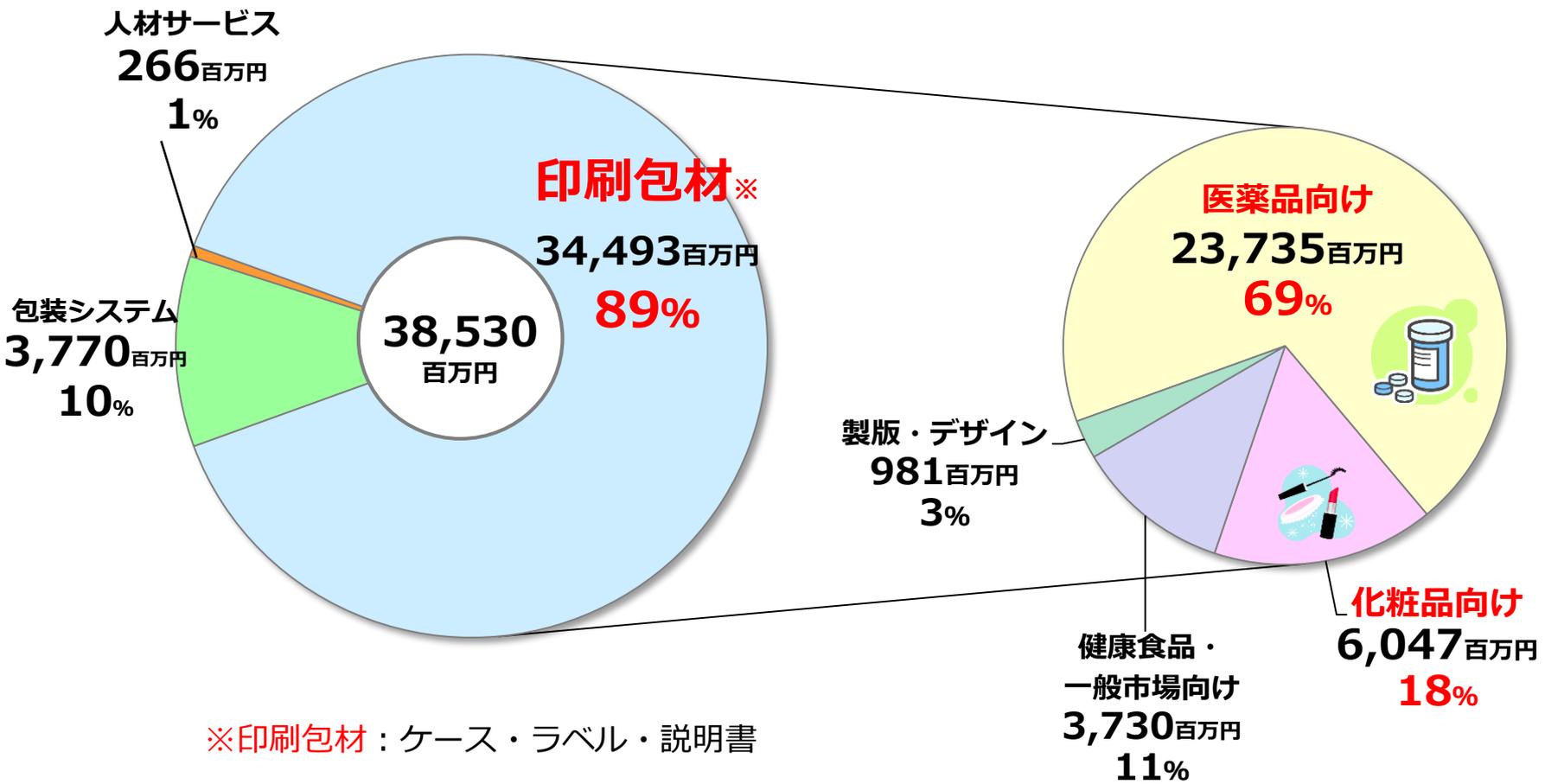


医療用向医薬品



化粧品

セグメント別・市場別売上の構成



売上

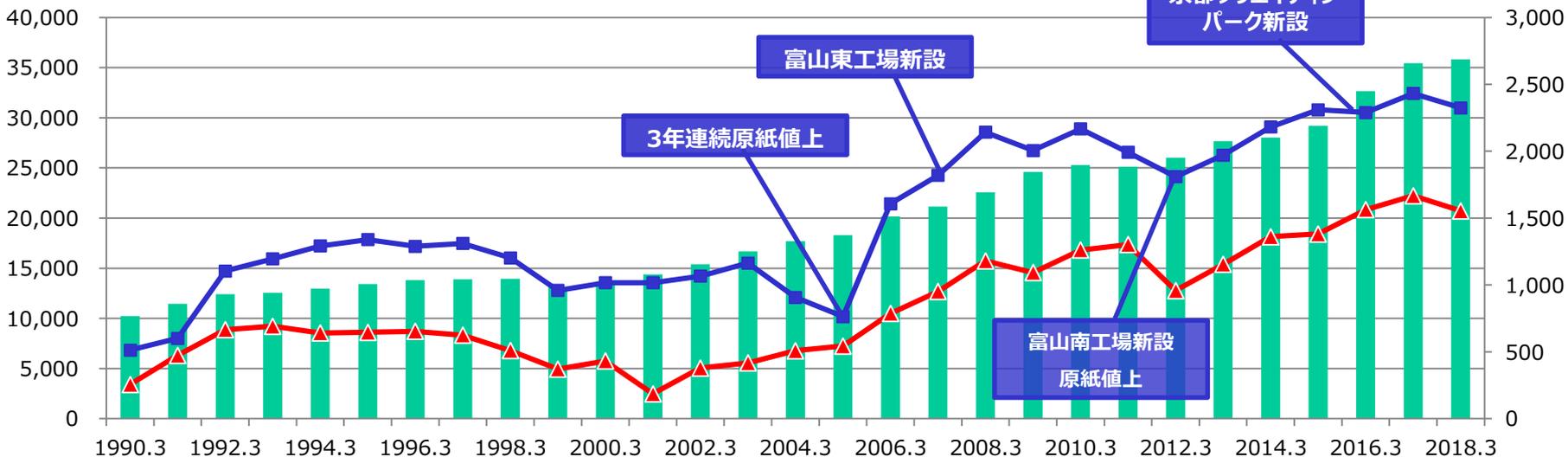
(百万円)

単体業績推移

売上高 経常利益 当期純利益

利益

(百万円)



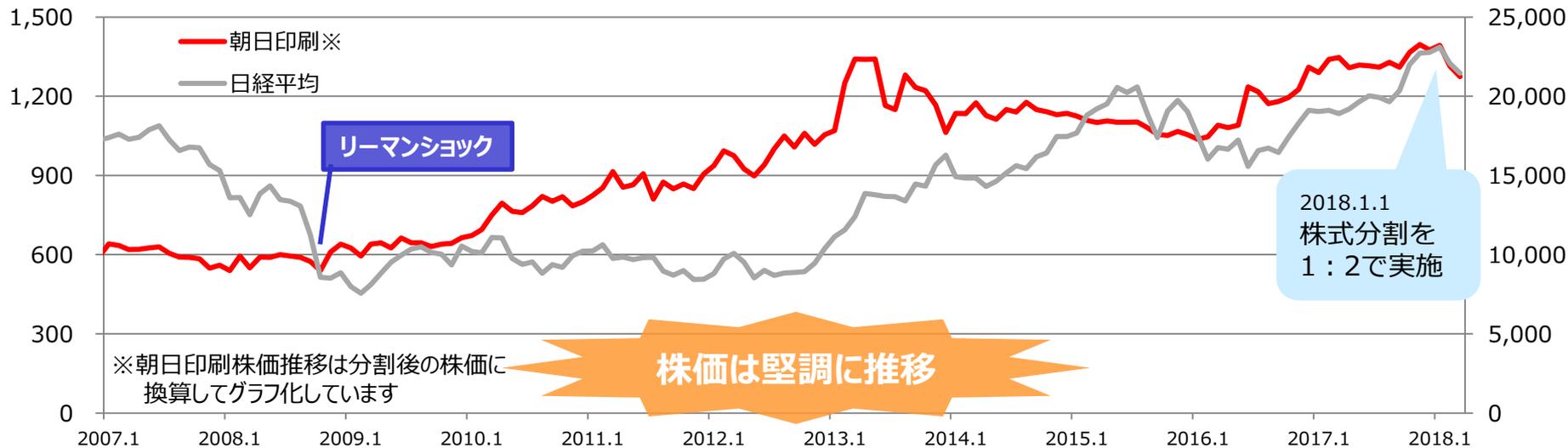
朝日印刷

(円)

株価推移 (月間終値)

日経平均

(円)



※朝日印刷株価推移は分割後の株価に換算してグラフ化しています

株価は堅調に推移

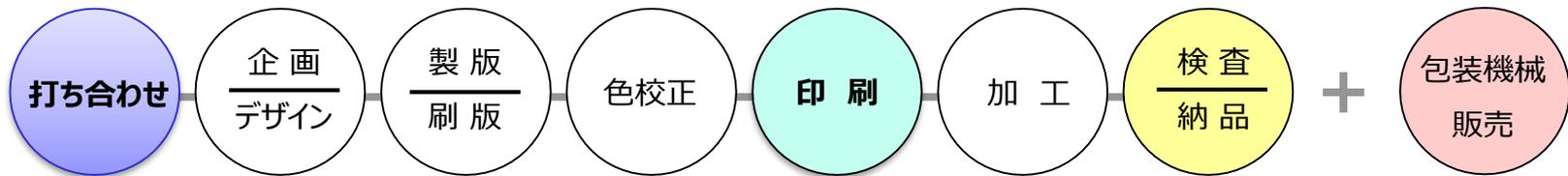


『インキ調肉用へら』

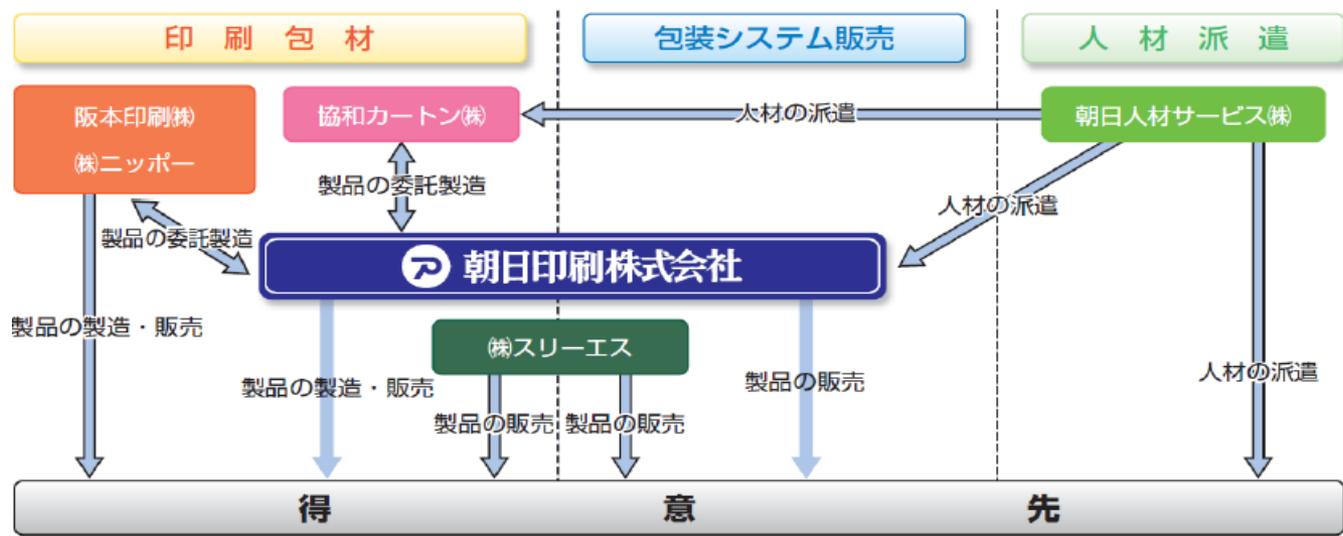
2. 朝日印刷の強み

グループワンストップサービスで同業との差別化を実現

医薬品・化粧品包材の
設計・デザインから製造・包装まで を自社グループで提供



グループ相関図



現在の販売拠点と製造拠点

国内販売拠点 20 拠点

国内製造拠点

海外拠点

- 富山工場
- 富山第二工場・富山第三工場
- 富山東工場
- 富山南工場
- 京都クリエイティブパーク

- Asahi Printing Singapore Pte.Ltd (シンガポール)



富山工場/富山第二工場/富山第三工場



富山東工場

富山南工場



京都クリエイティブパーク

クリエイティブセンター/富山営業部

協和カートン(株)

(株)ニッポー

朝日人材サービス(株)

滋賀営業所

金沢営業所

京都営業所

神戸営業所

山口営業所

福岡営業所

熊本営業所

海外子会社
(シンガポール)

徳島営業所

東北営業所

高崎営業所

宇都宮営業所

東京支店/メーク営業部/開発営業部

新宿支店

東海営業所

岐阜営業所

名古屋支店/(株)スリーエス

三重営業所

奈良営業所

阪本印刷(株)富田林工場

大阪支店/阪本印刷(株)本社

連結子会社



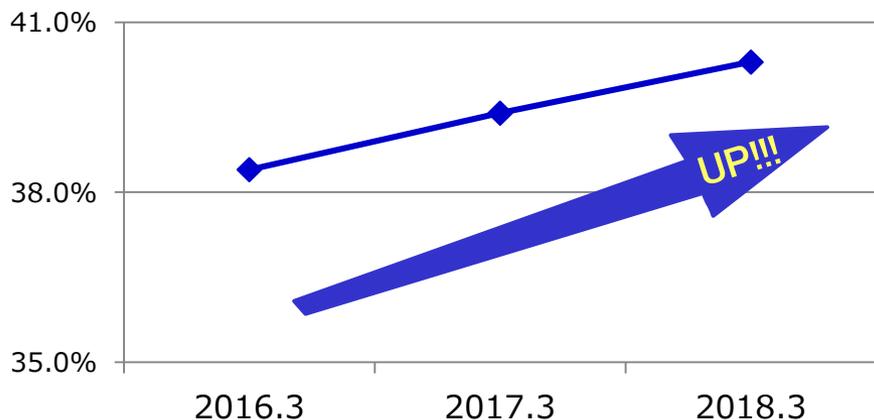
市場別の業界シェア

※推定市場規模は当社調査による

医薬品印刷包材市場 (推定市場規模 59,000百万円)

シェア第 **1** 位

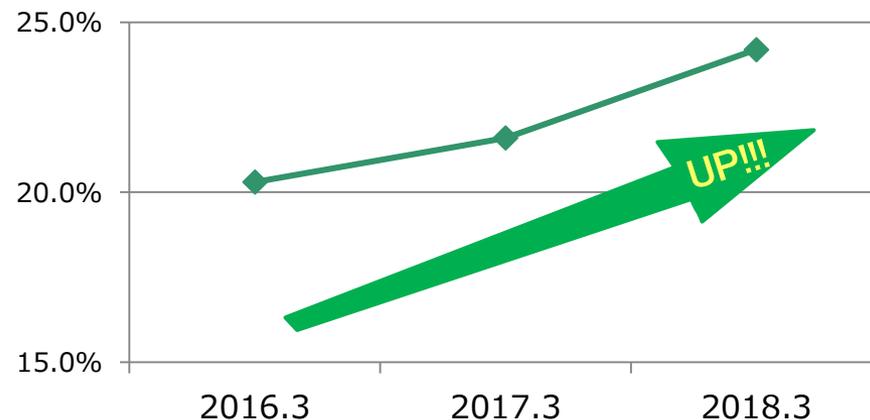
2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
38.4%	39.4%	40.3%



化粧品印刷包材市場 (推定市場規模 25,000百万円)

シェア第 **1** 位

2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
20.3%	21.6%	24.2%



- **偏りのない数多くの得意先**との取引 (トップの得意先で売上の **3%** 程度)

国内製薬メーカー (外資系を含む) **上位 100社中 93社** との直接取引

国内化粧品メーカー (外資系を含む) **上位 30社中 21社** との直接取引

- 全国 20 拠点の販売網による **地域密着型の提案型営業** (得意先の 90%以上が 50 km圏内)

高い参入障壁

医薬品包材

- 人命に関わる包装物
⇒ **表示に関する専門的な知識**と
薬機法やGMPに準拠した製造が求められる
(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)

- **長年のノウハウ**の蓄積
徹底した品質管理体制と品質保証体制
⇒ **高品質な製品**の提供

化粧品包材

- 多種多様な設備
様々な印刷・加工技術
⇒ **高付加価値な製品**の提供



品質マネジメントシステム
ISO9001 登録証



第56回2017ジャパンパッケージング
コンペティションにて受賞した
化粧品市場向けパッケージ

従来の印刷工程フロー



新しい印刷工程フロー



工程統合や検品機能をビルトインした設備を業界初導入

- 従来作業の概念を見直し、
将来を見据えた**省人化・省力化**の設備投資を
業界に先駆けて実施
- 「**新たなモノ作り**」の全社的展開により
生産性向上を目指す





『テープと錠剤』

3. 2018年3月期 連結決算概要

- ・ 2018/3期は、原材料費、労務費増加も売上増加により増収増益で着地
- ・ 好調な受注を受け設備投資計画を前倒しで実施

(単位：百万円)

	2018/3期		2017/3期		前期比増減		期初 予想比 (%)
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%	
売上高	38,530	100.0	37,591	100.0	+939	+2.4	+1.4
営業利益	2,522	6.5	2,484	6.6	+38	+1.5	▲0.7
経常利益	2,829	7.3	2,801	7.4	+28	+0.9	+0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,855	4.8	1,845	4.9	+10	+0.5	+3.4
EPS (円)	84.85	—	86.06 ※	—	▲1.2	—	—
ROA	3.4	—	3.7	—	▲0.24	—	—
ROE	6.8	—	7.3	—	▲0.52	—	—
減価償却費	2,188	—	2,201	—	▲13	—	—
設備投資額	4,624	—	4,359	—	+265	—	—

※分割後の数値に換算しております

- ・医薬品向け市場は、医療用市場向けは昨年同水準で推移、OTC向け市場が伸長
- ・化粧品向け市場は、インバウンド等で市場が活況、新製品増加
- ・包装システム販売は期初予想より売上増も減収

(単位：百万円)

	2018/3期		2017/3期		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
印刷包材事業 計	34,493	89.5	33,386	88.8	+1,107	+3.3
医薬品市場向け	23,735	61.6	23,192	61.7	+543	+2.3
化粧品市場向け	6,047	15.6	5,404	14.3	+643	+11.9
健康食品・ 一般市場向け	3,730	9.6	3,800	10.1	▲70	▲1.8
製版・デザイン	981	2.5	990	2.6	▲9	▲0.9
包装システム	3,770	9.7	3,976	10.5	▲205	▲5.1
人材サービス	266	0.6	229	0.6	+37	+16.1
売上高合計	38,530	100.0	37,591	100.0	+939	+2.5

要約損益計算書

(単位：百万円)

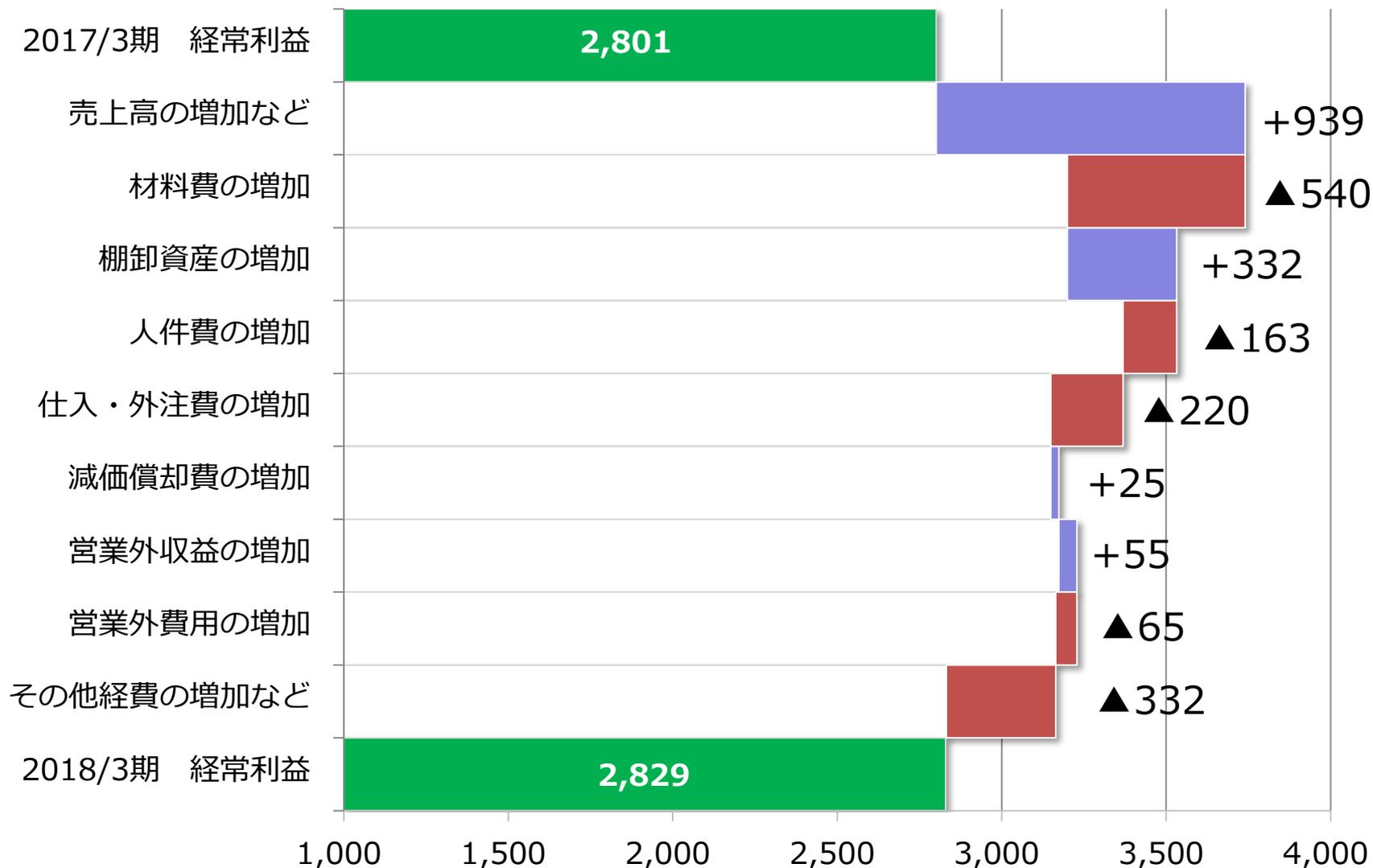
	2018/3期		2017/3期		前期比増減	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%
売上高	38,530	100.0	37,591	100.0	+939	+2.5
売上原価	29,631	76.9	28,951	77.0	+680	+2.3
売上総利益	8,898	23.0	8,640	22.9	+258	+2.9
販管費	6,376	16.5	6,156	16.3	+220	+3.5
営業利益	2,522	6.5	2,484	6.6	+38	+1.5
営業外損益	307	0.8	317	0.8	▲10	▲3.1
経常利益	2,829	7.3	2,801	7.4	+28	+1.0
特別損益	▲59	▲0.1	▲83	▲0.2	▲24	▲28.9
税引前利益	2,769	7.1	2,717	7.2	+52	+1.9
法人税等	889	2.3	842	2.2	+47	+5.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,855	4.8	1,845	4.9	10	+0.5

・仕入・外注費の増加
売上高増加及び
納期対応に伴う
外注費の増加

・荷造運送費の増加
売上高増加に伴う
物流コストの増加

経常利益の増減分析

(単位：百万円)



要約貸借対照表

(単位：百万円)

	2018/3期	2017/3期	増減額	
流動資産	19,565	18,952	+612	現金及び預金 ▲10億37百万円 ・固定資産の取得、原材料の仕入れに充当
現金及び預金	2,829	3,867	▲1,037	
売上債権	13,507	12,404	+1,103	
棚卸資産	2,492	2,105	+386	
固定資産	34,412	31,152	+3,260	有形固定資産 +21億73百万円 ・生産設備の導入 ・富山SCMセンターの新設
有形固定資産	25,827	23,654	+2,173	
資産合計	53,978	50,105	+3,872	
流動負債	16,253	13,227	+3,026	
仕入債務	7,338	6,846	+492	
短期有利子負債	4,833	1,940	+2,893	短期有利子負債 +20億86百万円 長期有利子負債 ▲20億86百万円 償還日が1年内となった社債の振替による増減
固定負債	8,509	10,855	▲2,346	
長期有利子負債	5,830	8,467	▲2,637	
負債合計	24,763	24,083	+679	純資産 +31億92百万円 ・資本金及び資本剰余金 (転換社債行使に伴う資本の増加) ・利益剰余金の増加
純資産合計	29,214	26,022	+3,192	

- ・ 営業CFは30億11百万円の資金の流入、投資CFは34億5百万円の資金の流出
- ・ 借入金（有利子負債）の流出により、財務CFは6億43百万円の資金の流出

(単位：百万円)

	2018/3期	2017/3期
営業キャッシュ・フロー	3,011	3,998
税引前利益	2,769	2,717
減価償却費	2,188	2,201
売上債権の増減額（▲は増加）	▲1,388	▲1,082
棚卸資産の増減額（▲は増加）	▲386	▲99
仕入債務の増減額（▲は減少）	732	362
法人税等の支払額	▲980	▲733
投資キャッシュ・フロー	▲3,405	▲3,510
有形固定資産の取得による支出	▲3,433	▲3,170
財務キャッシュ・フロー	▲643	▲1,173
短期・長期借入金のネット収支	198	▲338
現金及び現金同等物の期中増減額（▲は減少）	▲1,037	▲686
現金及び現金同等物の期末残高	2,829	3,867

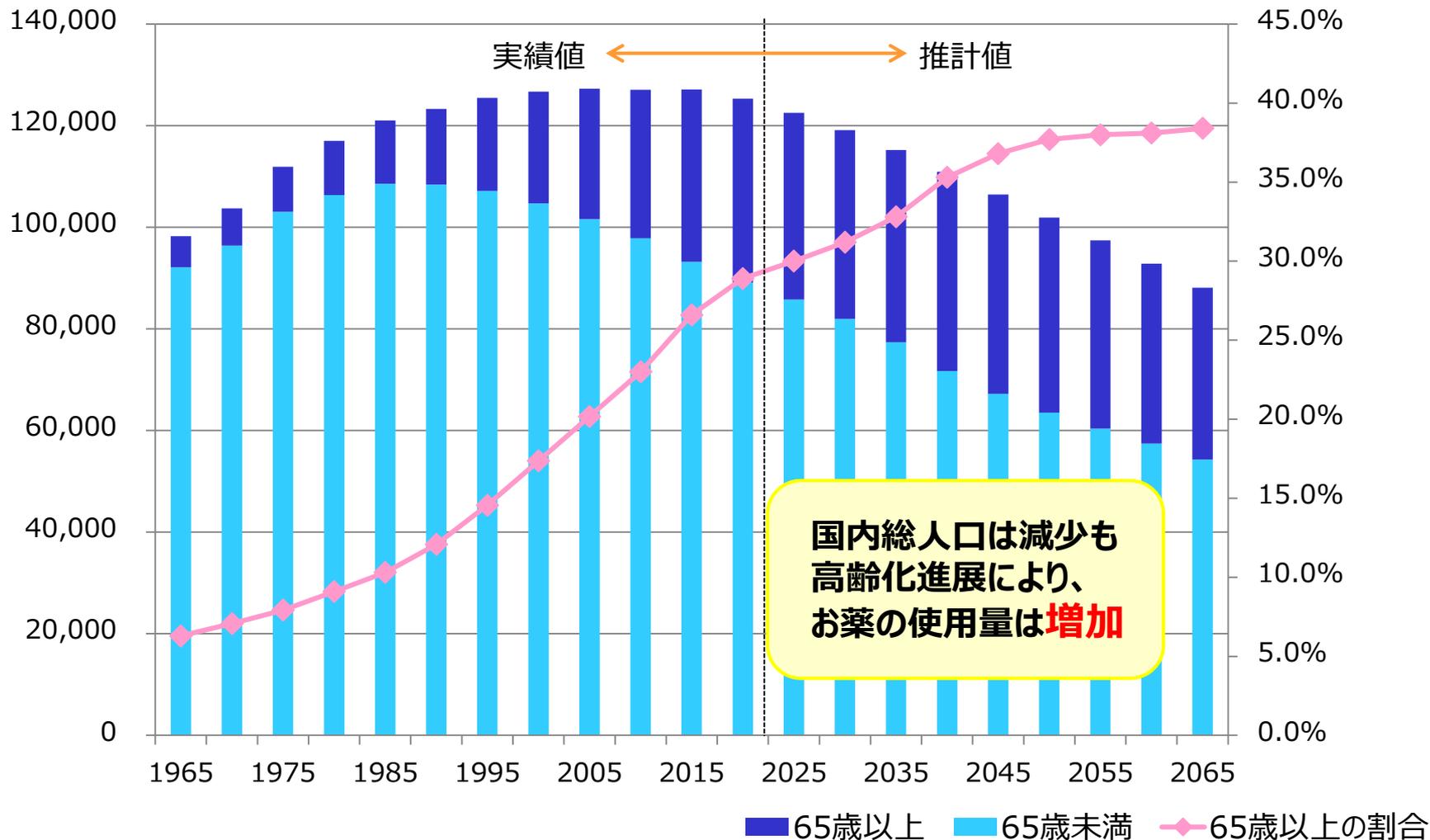


『調肉青インク』

4. 朝日印刷を取り巻く環境

① 日本の将来人口

日本の将来人口推計



データの出典：総務省「国税調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」-出生中位（死亡中位）実績値および推計値-

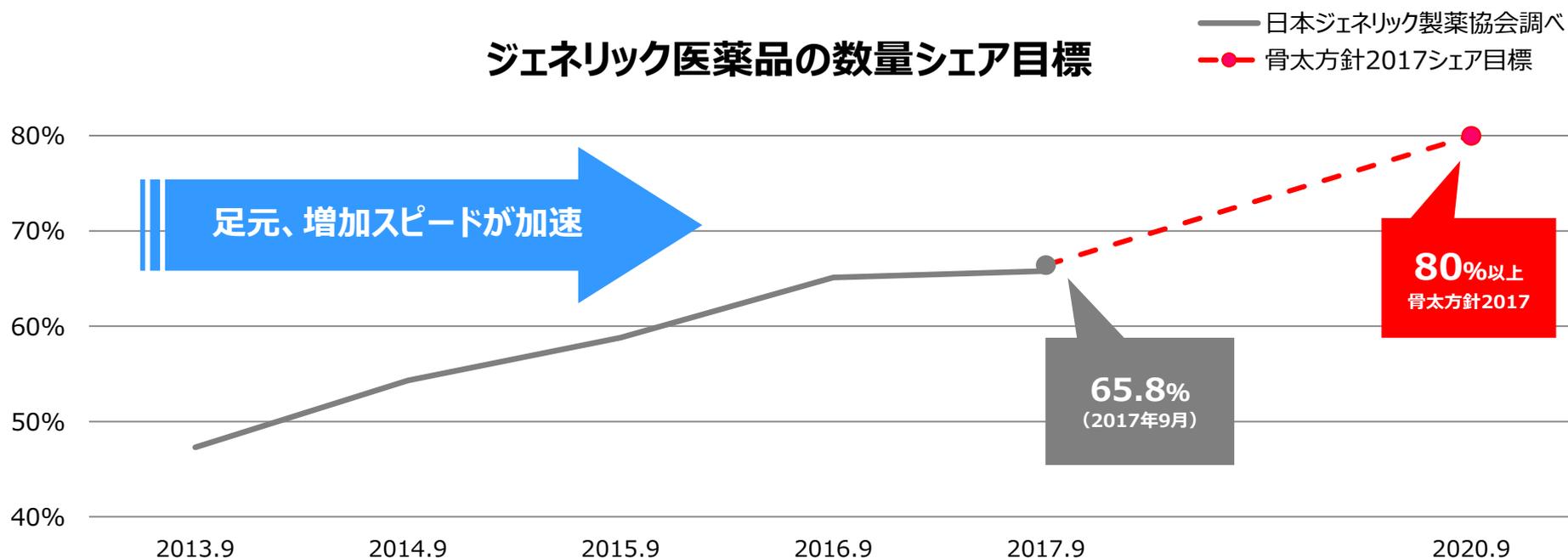
骨太方針2017

ジェネリック医薬品の普及促進

- 厚生労働省 数値目標
⇒ 2018年～2020年のなるべく早い時期に
GE使用量を**80%**にする(市場拡大+品目の増加)
- 2020年末までにバイオシミラー製品の品目数倍増
- スイッチOTCの増加
※バイオシミラー：化学合成ではなく、バイオテクノロジーによって作られる医薬品をバイオ医薬品と言い、その後続品を指す

＜当社予測＞
医薬品使用量は
高齢人口の増加やGE普及促進、
お薬の品目増加により
当面の間、**増加**する

ジェネリック医薬品の数量シェア目標



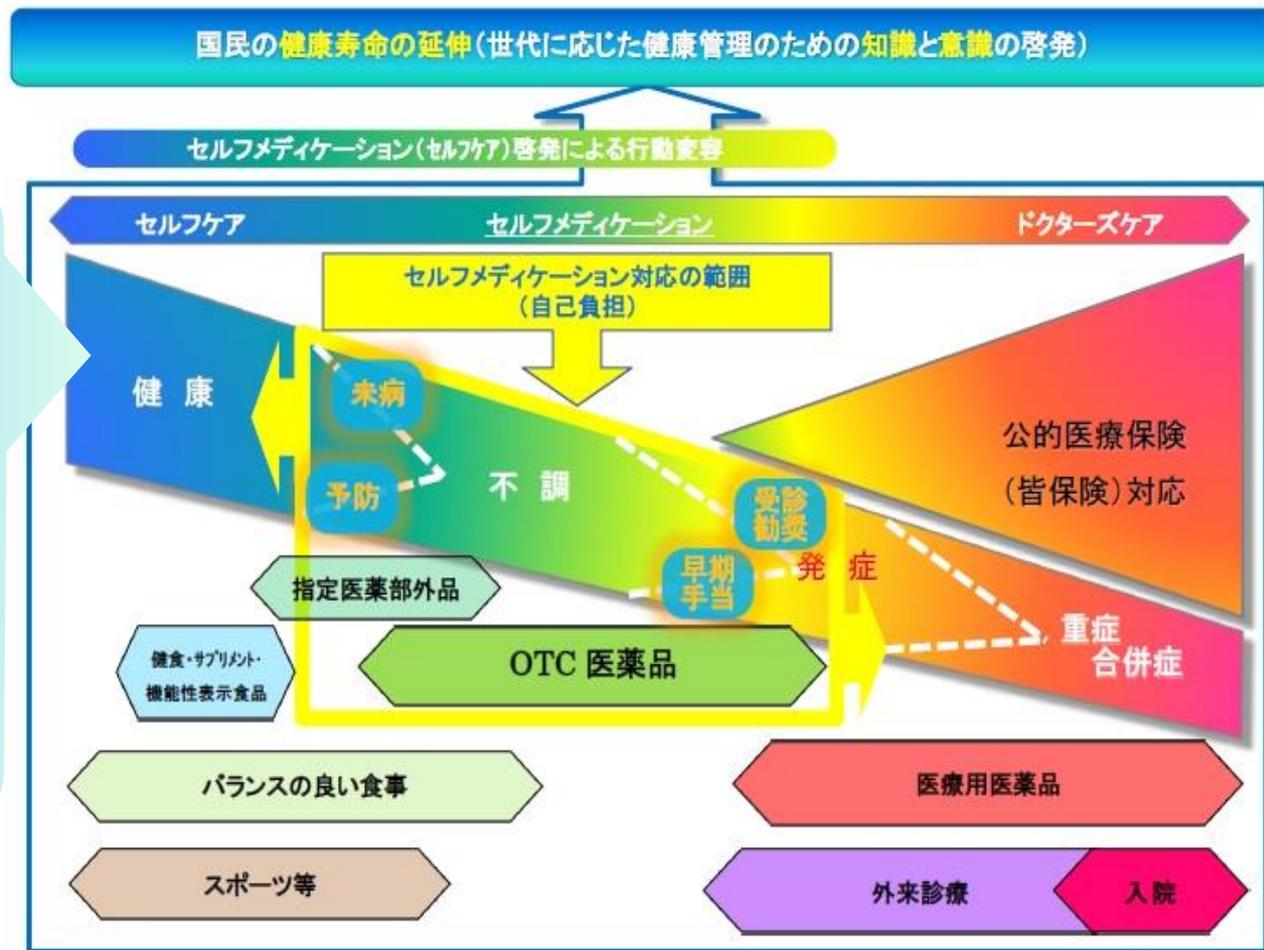
セルフメディケーションの広がり

2025年 1兆8,000億円 市場へ
(2015年 1兆1,000億円)

OTC医薬品産業3本柱

1. 国民の健康寿命延伸に向けて、セルフメディケーションが貢献
2. セルフメディケーションを実践する場として「薬局・ドラッグストアでの地域包括ケア」が定着
3. 健康寿命の延伸のためのJAPAN ModelがASEAN中心に波及（輸出増）

2017年1月より
セルフメディケーション減税の実施



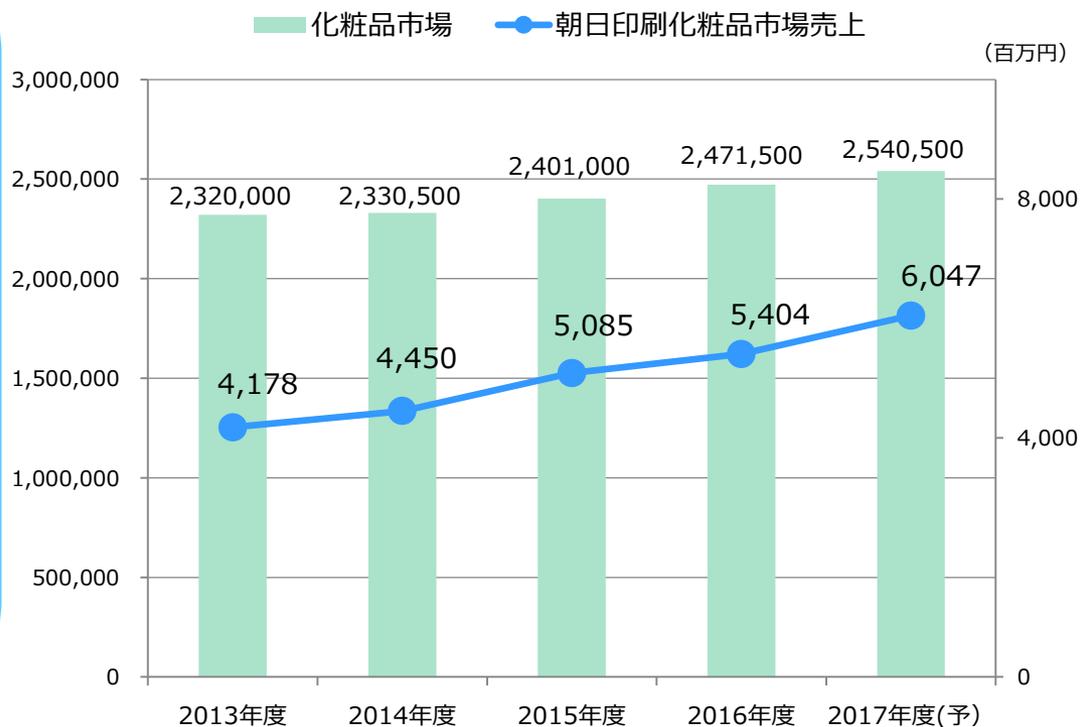
活発な市場環境

インバウンド需要の拡大と越境ECの定着

MADE IN JAPANのブランド価値向上
(国内生産への回帰)

新製品（新ブランド、高機能商品）投入増加

国内の化粧品市場規模と朝日印刷化粧品市場売上の推移



※ブランドメーカー出荷金額ベース
※2017年度は予測値

出所：化粧品市場数値
…株式会社矢野経済研究所推計

更なるシェアUPへ!!

- 1 営業体制の強化
- 2 高加飾印刷機・加工機の増設
- 3 新しい包装形態・開発品の市場投入
- 4 生産増産体制の構築（京都CP増床）



多面箔押機



バイオマスPETクリアパッケージ



AI機能搭載多色印刷機

5. 中長期経営計画

AD20**21**計画

AD2021スローガン

『Open』 The Future ! !

包むころを大切に
日本と世界へ新しい包装文化を発信する

チェンジ！！感動！！ぶっちぎり！！



経営理念

【創業200年の夢】
“自分の子供や孫の世代も入社させたい”
朝日印刷グループで働く
世界中のだれもが、
そう思える会社を創りたい

私達は、美と健康の包装に関する分野で
包むところを大切に
日本と世界へ新しい包装文化を発信する

コア事業領域

私達は
美と健康に関する分野で、
包装を核とした
商品とサービスを提供する

2021年度数値目標

- ・連結売上高 450億円
- ・営業利益率 10.0%
- ・ROE 8.00%
- ・配当性向 30.0%以上

基本方針

お客様本位

私達は、常にお客様の立場に立って考動し、
笑顔と感動を提供する企業を目指します

選ばれる企業

私達は世界中のお客様に安心・安全と、
新たな付加価値のある商品・サービスを提供します

働きがい企業

私達は、Asahiファミリーとしてお互いを
思いやり、笑顔が溢れる企業を目指します

社会貢献

私達は、暮らしと心の豊かさを大切にし、
社会から尊敬される企業を目指します

2012年～2016年

2017年～2021年

連結
売上高
450億

持続的成長

企業価値・
株主価値の極大化

AD2016計画

AD2021計画

① 2017年～2019年

*グループ内保有設備の稼働率UPに向けた準備期間
(モノ作り体制のチェンジ)

② 2019年～2021年

*チェンジしたモノ作り体制を成長ドライバーとし
早期に成長軌道に乗せ、目標達成へ!

2015年

- ・京都クリエイティブパーク新設
(初の県外生産拠点)
- ・しごとチェンジ推進室設置
(営業改革実施)

連結
売上高
375億

2017年

- ・しごとチェンジ推進室を
中心に生産改革に着手
- ・生産設備増強投資

2018年

- ・省人・省力化への投資
- ・海外取引スタート

2019年

- ・多様性のある人材活用に向けた
制度を実現

2020年

- ・グループ内シェアードサービス開始

2021年

グループ新生産体制確立

1

戦略的売上拡大

ファーストコールカンパニーとして、
美と健康市場でシェアNo. 1を極める

2

利益追求

付加価値生産性の最大化を目指し、
営業利益率10%以上を目指す

3

お客様満足向上

全社一丸となった最高の商品・サービスを
提供し、お客様に選ばれ続ける企業を目指す

4

海外進出

Asahiワンストップサービスを実現し、
海外市場における販売・製造拠点を確立する

5

人財育成

多様な人材を獲得し、業界No. 1企業として
幅広い知識と経験を持った人財を育成する

6

技術・開発

他社に先駆けたオリジナルイノベーションを
創出し、包装業界をリードする

7

働き方改革

ワークライフバランスのとれた
従業員満足度No. 1企業を目指す

8

財務戦略

計画的な財務戦略に基づき、
環境変化に柔軟に対応した経営を実現する

9

CSR

安心・安全・環境をテーマに、
地域社会に貢献できる企業を目指す

10

グループ戦略

Asahiグループ全従業員が、最高の
パフォーマンスを発揮できる体制を構築する

ワークライフバランスの向上

省人・省力化の推進をベースとした高効率労働を追及

年間休日数増加・所定労働時間短縮
在宅勤務・フレックス勤務制度導入
パートナー社員の正社員化
健康経営格付けの取得



働きがいのある仕組みにより、社員の意識改革と風土の醸成を図る

6. 今期2019年3月期 連結業績予測



富山工場

- ・ 堅調な医薬品市場、好調な化粧品市場を背景に増収増益を目指す
- ・ 包材売上の物量増に対して、設備稼働率UP・生産性向上を実現
- ・ 今期設備投資は省人化省力化への投資が中心に。償却費増加

(単位：百万円)

	2019/3期 予想		2018/3期		前期比増減	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	%
売上高	39,911	100.0	38,530	100.0	+1,381	+3.5
営業利益	2,564	6.4	2,522	6.5	+42	+1.6
経常利益	2,852	7.1	2,829	7.3	+23	+0.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,915	4.8	1,855	4.8	+60	+3.2
EPS (円)	87.60	—	84.86	—	+2.74	—
ROA	3.5	—	3.4	—	+0.1	—
ROE	6.4	—	6.8	—	▲0.4	—
減価償却費	2,302	—	2,188	—	+114	—
設備投資額	1,554	—	4,624	—	▲3,070	—

印刷包材事業・包装システム販売事業ともに増収予測

- ・医薬品市場向けについて、GE市場・OTC市場向けは増加も長期収載品は減少予測
- ・化粧品市場向けは、今期も伸長を予測

(単位：百万円)

	2019/3期 計画		2018/3期		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
印刷包材事業 計	35,730	89.5	34,493	89.5	+1,237	+3.5
医薬品市場向け	24,030	60.2	23,735	61.6	+295	+1.2
化粧品市場向け	6,663	16.7	6,047	15.6	+616	+10.1
健康食品・ 一般市場向け	3,972	9.9	3,730	9.6	+242	+6.4
製版・デザイン	1,065	2.6	981	2.5	+84	+8.5
包装システム	3,900	9.7	3,770	9.7	+130	+3.4
人材サービス	280	0.7	266	0.6	+14	+5.2
売上高合計	39,910	100.0	38,530	100.0	+1,380	+3.5

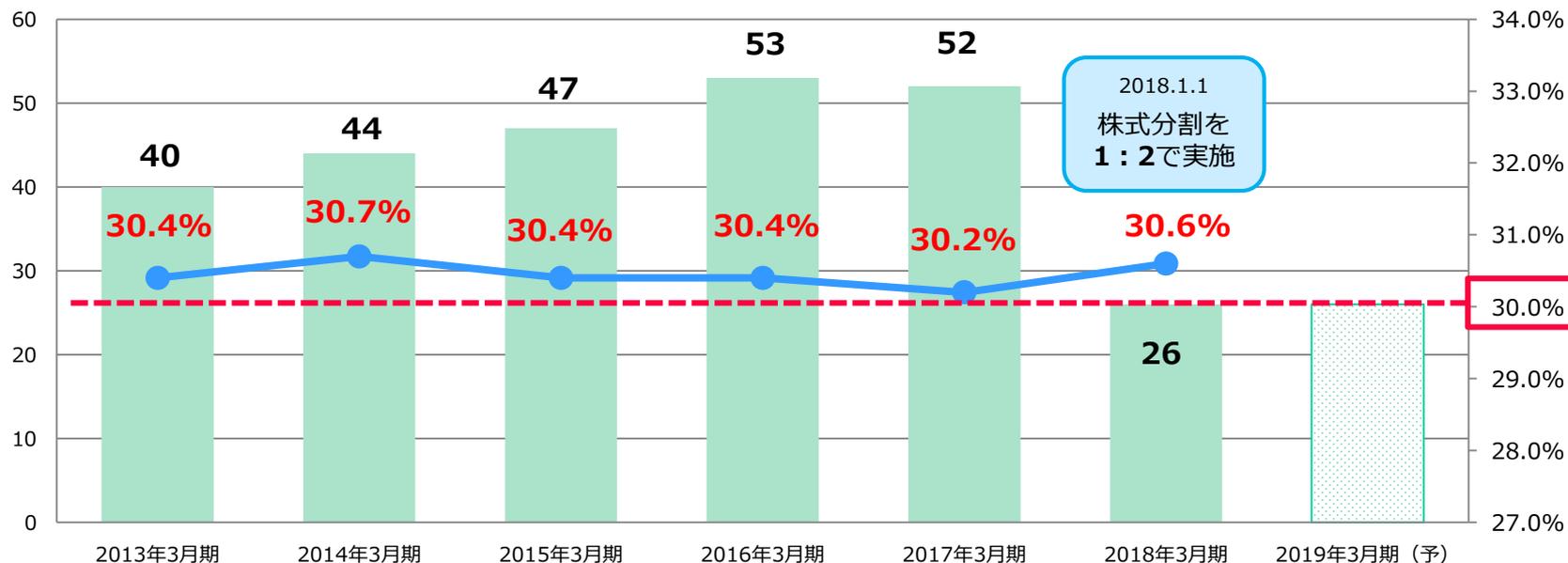
2018年
3月期計 **26円**中間配当
1株当たり**10円**期末配当
1株当たり**7.5円**記念配当
1株当たり**8.5円**

株主の皆様への利益還元を配当で実施することを重要な経営政策と位置付け、安定的な配当の継続を基本とし、これに業績に応じて成果の配分を行うことで、連結ベースで配当性向 30.0% 以上をお約束しております。

(※株主優待は実施していません)

配当(円)

配当性向



ご清聴ありがとうございました！



〈お問い合わせ先〉 朝日印刷株式会社 社長室

TEL : 076-491-6137

HP URL : <http://www.asahi-pp.co.jp/>

- この配布資料に記載されている業績予想および見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境等の不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
- 投資者一般への情報伝達を目的としており、当社の株式その他有価証券等の売買等を勧誘または推奨するものではありません。



舟川ベりのチューリップ